



完成を祝って橋を渡る市民ら

産業振興と安全確保に寄与 市道夏梅工業団地線が開通

3月3日、主要地方道養父穴栗線と農道口大屋1号線を結ぶ市道夏梅工業団地線（延長154[㍎]、幅員7[㍎]）が開通し、関係者や市民ら約150人が参加して記念式典が行われました。

大屋川左岸にある地域産業支援工場へのアクセス道は幅員が狭く、大型車両の通行が困難な状態でしたが、夏梅工業団地線の開通により、地域産業の振興と地域の安全確保、緊急時のう回路として効果が期待されます。なお、道路延長のうち

65[㍎]は新しく架けられた「ごんげん大橋」で、総事業費は約2億1600万円です。

記念式典では、梅谷市長が「これを機に地域がますます発展するように努めます」とあいさつ。その後、関係者がテープカットとくす玉を割り、集まった市民らが道路と橋を歩いて通り初めを行いました。

「春季全国火災予防運動（3月1日～3月7日）」に合わせ、3月4日に大屋町蔵垣のかいこの里交流施設で消防訓練が行われました。養父市消防団では、毎年この運動に合わせて消防本部と合同で訓練を実施し、非常時に備えているものです。訓練は、消防団大屋方面隊と消防本部署員ら約60人と消防車両6台が参加。かいこの里交流施設から出火し、付近の山林や家屋に延焼の恐れがあるとの想定で行われました。団員らは、防火水槽2力所から取水し、連携をとりながら機敏な動作で火元をめがけて放水しました。訓練終了後、上垣政雄方面隊長は「訓練で行った内容を、もしもの時には実践できるように、重ねて確認することが大事」と話しました。

素早い放水で有事に備える 春の火災予防運動に合わせて合同消火訓練



火元に向けて放水する団員ら



完成を祝って葛畑三番叟を披露するせきのみや子ども歌舞伎

整備が進む地域交流の場 県民交流広場事業を活用して施設整備

このたび、小佐地域推進委員会（西田幸三会長）が昨秋より建築していた小佐ふれあい倶楽部の増築工事が完成し、そのお披露目として3月11日、多くの地域住民が参加して記念の集いが行われました。これは、兵庫県が企画と協働による兵庫づくりの具体的な支援策として実施している「県民交流広場事業」を活用し、小佐ふれあい倶楽部にステージを増築したものです。さらに、同事業を活用して三谷小学校区と浅野小学校区の校区公民館の整備もされています。記念の集いでは、せきのみや子ども歌舞伎による葛畑三番叟と県の無形民俗文化財に指定されている豊岡市の法花寺万歳が披露され、ステージのこけら落としを行いました。今後、気軽に集える「場」として、交流活動の実践が期待されます。